

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	トランジットジュニア		公表日	2025年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差をなくし、床配線のコードレス化をしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全ての意見を業務改善に繋げられるわけではないが、通所する・している学生に必要であれば実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		療育に関する研修やカリキュラムの質向上のための研修を受講している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和6年3月より、ホームページに公表済み	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		就労準備型なので、保護者・スタッフよりも本人の意思を最重要視し、自立・自己判断できるよう計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員参加の支援会議を実施。必要に応じて、学校や併用している放課後等デイサービスと連絡を取り合って支援の内容を協議することがある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		就労系アセスメントを事業所ツールとして標準化。それ以外のアセスメント内容は、日々の支援記録に記載	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		四半期ごとにカリキュラムや支援の内容をブラッシュアップする期間を設けている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動がメインだが、本人・保護者の意思に応じて、集団での対人交流技能を学ぶ機会も提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日始業後にミーティング実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日始業後にミーティングにて、前日の振り返りと、当日の動きの確認を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも3ヶ月に1度モニタリングを実施している。成長度合いに合わせ、本人の意向を反映させた支援計画を作成している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		現場レベルとガイドラインでは違いが出る場面もあるため、臨機応変に適用できるようにしている	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		「正しい自己決定は、豊富な選択肢があることから」と意識し、様々な方法から自己決定できるようにサポートをしている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		営業時間内には参加。担当者会議が開かれたり、ヒアリングされることが殆どない。個別支援計画は相談支援事業所に共有	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		自立サポート支援の一環として、高校2年、3年生はより密に連携している	学校と連携を取り合い、学校だから学べる部分と、放課後等デイサービスだからサポートできる部分など多角的な支援ができるよう工夫して進める
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		中高生が多いため、就学前の機関と関わることがない。相談支援事業所と情報を共有することはある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		自立サポート支援の一環として、情報共有したり連携を取って進めている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期巡回時	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		対象年齢が異なるため、交流は無い	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		札幌市から案内があれば参加している		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		「あしあと帳。」という独自ツールを使用している。契約時にログインの説明も行っている		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		低学年の児童がおらず、通所児童は自立心がある。保護者からの相談はいつでも受け付けており、相談体制を整えている		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			相談がある場合は、個別相談時間を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			各家庭の予定を合わせることが難しく、実施はしていない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			ホームページブログやSNS、「あしあと帳。」などの電子ツールを活用し発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			新人スタッフ入社時やスタッフ退職時に説明し、徹底している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			「あしあと帳。」というオリジナルネットワークを使用している。プリントや電話やLINEなど、各家庭に合わせて対応	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			行事に招待することは無いが、近隣店から仕事依頼をもらったり、事業所見学をしてもらうなど、必要に応じて地域との交流を行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年に数回建物自体の避難訓練がある。全員が見れる場所に、避難方法・避難場所に関する動画を掲載	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			頓服薬を服用している学生を把握し、状況に応じた最短・最適な対応ができるように、対応方法をスタッフで確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			食事提供を行っていない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行うことがない	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		実施数		回収数	
トランジットジュニア		2025年 4月 1日		49名		35	
	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 活動等のスペースが十分に確保されていますか	29	3	0	3	・沢山使える機械があり、待ち時間なども有効に使えると思う	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか	27	2	0	6	・困った時にすぐ質問でき解決することができる ・色々不適切のある息子でも安心して楽しめる状況にあるには、沢山の配慮された目と手があるからだと思う	
	3 事業所は、こどもにわかりやすい環境になっていますか。また、事業所の設備は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切ですか	28	3	0	4	・バリアフリーという点ではエレベータが狭い印象がある	
	4 事業所は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	32	1	0	2	・環境整備がとても整っていると思う ・もう少し室内明るい方が見やすいかも	当事業所では、お子さまが落ち着いて活動できるよう、照明には電球色を採用しています。そのため、時間帯や場所によっては少し暗く感じることがあるかもしれません
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	28	3	0	4	・やりたいことを見つけられる	
	6 事業所がホームページ等で公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	32	0	0	3		
	7 個別支援計画(3か月目標)について。こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、作成されていると思いますか	32	1	0	2		
	8 個別支援計画(3ヶ月目標)に沿った支援が行われていると思いますか	29	3	0	3		
保護者への説明等	9 児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか	3	5	11	16	・オンラインでの交流はトランジットジュニアだからできる取り組みだと感じる ・地域との繋がりがあるか分からない	不定期ではありますが、他の放課後等データベースとの交流をオンラインで開催する機会を設けています
	10 事業所を利用する際に重要事項(運営規程、支援プログラム、利用者負担等)について丁寧な説明がありましたか	32	0	0	3	・わかりやすく説明してくれた	
	11 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	26	5	1	3		
	12 事業所では、家族支援や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか	11	4	2	18		
	13 日頃からこどもの状況を「あしあと帳」などを通して保護者と伝え合っている。こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか	24	5	0	6	・活動中の様子を写真などで見れる ・ネット類が苦手なため、あしあと帳の使い方が難しい	契約時に「あしあと帳」の使い方を説明した資料をお渡ししております。ご不明な点は都度ご連絡いただき、使用方法の説明をしています。また、必要に応じてLINEや電話にて日々の相談・共有を行うことがあります
	14 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか	14	9	5	7	・メールを通して、いつも支援や助言していただけてありがたい	
	15 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか	26	1	0	8		
	16 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられたり、きょうだい向けのイベント等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族支援が行われていますか	3	3	11	18		
	17 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	3	3	11	18		
	18 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	28	5	1	1		
非常時等の対応	19 定期的にホームページ・SNS・あしあと帳、等で、活動概要や行事予定等の情報が、こどもや保護者に対して発信されていますか	31	2	0	2	・独自アプリやLINE配信などで通知が来るなどと嬉しい	イベントについては必ずお子さまへ直接お知らせを行っております。また、お休みの連絡については、LINEでもご案内しております。今後も、保護者の皆さまに必要な情報がスムーズに届くよう工夫していきます
	20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか	30	1	0	4		
	21 事業所では、事故防止・緊急時対応・防犯・感染症等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	16	3	0	16		
非常時等の対応	22 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか	7	2	0	26	・避難訓練などを実施したことが聞いたことないかも ・訓練についてはわからない	ビル全体の避難訓練は年に1回実施されており、スタッフは訓練に参加し、非常時の誘導方法や対応を学んでいます。なお、聴覚過敏等の特性で避難警報音が苦手な学生もいるため、札幌市からの助言を受け、全てのパソコンで避難経路を説明した動画を確認できるようにしています。
	23 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	24	1	0	10	・通所予定が遅れたりお休みの際に、子供からの連絡が漏れた場合に連絡をもらえるのはありがたい。着いているかも確認できると安心できる	

施設 児童	24	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか	18	2	0	15	・そのようなことが起きた事はないが、迅速な対応をと思う	
	25	こどもは安心感をもって通所していますか。	33	2	0	0		
	26	こどもは通所を楽しみにしていますか	30	3	0	2		
	27	事業所の支援に満足していますか	30	5	0	0	・ゲームをしに行っているだけに感じる	お子さまの興味や特性によっては、活動のバランスが偏っているように見えることもあり、不安に感じられることがあるかもしれません。必要に応じて保護者のみなさまの不安な点を教えていただき、お子さんの変化の共有を行います。